

第125回定例会
令和5年度一般会計ほか予算議案…2
一般質問 ……5
 今 勝吉議員 ……6
 大高恒藏議員 ……8
 八木 史議員 ……10
 七戸 均議員 ……12
第126回臨時会 ……13
議会活動 ……14

第74号

令和5年8月10日発行



行合崎海岸「ハマイブキボウフウ」・レッツ！ふかうら北児童クラブ

物価高騰対策支援 1世帯当たり 3万円給付 住民税非課税
低所得子育て生活支援 子供1人当たり 5万円給付 世帯等対象



問 低所得子育て世帯生活支援金の給付対象は。
答 対象となる子供は50人を想定している。




低所得
子育て世帯生活支援金
250万円

食費等の物価高騰等の影響を受けている低所得の子育て世代を支援するため、令和4年度住民税非課税若しくは令和5年度分住民税非課税世帯を対象に児童1人当たり5万円を給付するため



第125回定例会は、6月13日から16日までの4日間の会期で開かれました。
 一般質問では、4人の議員が登壇し、観光振興や温泉利活用など町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。
 町長から補正予算関係議案2件、条例関係議案1件、工事の請負契約の件2件、報告4件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。



提案理由等の動画が視聴できます。

問 災害復旧に伴う土砂の残土置き場の場所とどの位の規模を受け入れるか。その後の残土の活用は考えているのか。
答 取得を考えている土地は、前坂の踏切、国道の海側のほか、大戸瀬地区、深浦本町地区、岩崎地区の3か所を考えている。総面積は3万平方メートルで排出される残土は3万7千から5万立方メートルを想定している。
 災害復旧事業を円滑に進めるための残土置き場の考えで、その後の計画は現時点ではないが、将来的に活用があれば検討していく。



▲残土置き場予定地(前坂踏切海側)



公有財産購入等
1675万円

災害復旧に伴い排出される土砂の残土置き場が不足なため用地を取得するため

問 本町に内示のあった交付金額はいくらか？独自で価格変更できない医療・介護・保育施設関係や地方公共団体が更に効果があると判断する単独事業も色々検討してはどうか。
答 低所得世帯枠分と推奨事業×ニュー分、合わせて8731万4千円が交付限度額として配分された。この内4662万9千円を物価高騰対策支援給付金事業費に充てる。
問 残り4000万円で、医療・介護・保育関係施設に対してはどうか。
答 各課から交付金の趣旨に合致した事業を取りまとめて協議し、他市町村の状況等を見極めて良い事業を実施していきたい。

議案第1号
一般会計補正予算
歳入歳出に1億1857万円を追加
物価高騰対策支援給付金
6300万円

電力・ガス・食品等の物価高騰による負担を軽減するための支援として、令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみの課税世帯を対象に1世帯当たり3万円を給付するため

残りは、今後必要とされる推奨事業×ニューに合致するものを検討する。



第125回定例会では、6月14日に一般質問が行われ、4人の議員が町政全般について質問しました。編集の都合により、掲載は実際の質問順とは異なりますので御了承願います。また、質問と答弁は、議会広報編集委員会が要約しています。

1 今 勝吉 議員 (6ページ)

- 世界自然遺産白神山地について
- 風力発電について
- なんでも課の開設について
- ゆとり温泉閉鎖後の救済について

2 大高 恒藏 議員 (8ページ)

- 非正規職員の処遇改善について
- 少子高齢化に対する本年度の対策について
- 町民の不安に対処する施策について

3 八木 史 議員 (10ページ)

- 町の財政状況について
- ウエスパ椿山について
- 森林環境譲与税を活用した森林等の整備について

4 七戸 均 議員 (12ページ)

- 吉田町政の運営について
- 未来の深浦町を住みよい町にするための対策について

背景：麩木海岸 (ハマヒルガオ)

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

町政をたただす

◆第125回定例会採決等状況一覧

議案等	八木 史	七戸 均	福沢 秀己	大川 清光	岩谷 司	岩根 環	今 勝吉	大高 恒藏	藤田 一則	工藤 博利	七戸 均	斉藤 登	議決結果 (賛成：反対)
議案第1号～ 議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (11：0)
報告第1号～ 報告第4号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	委員会付託 (11：0)



議案審議等の動画が視聴できます。

※○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、議長(斉藤 登)は採決に加わらない。



代表取締役 脇川 勇生

◆議案第4号
工事の請負契約の件
工事名 交安第1号 北金ケ沢17号線交通安全対策2期工事
請負代金 7744万円
契約の相手方 株式会社脇川建設工業所

◆議案第3号
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
関係法律の一部改正で、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付に係る規定を改正

◆議案第2号
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算
【直診勘定】医師1名分の人件費等1780万円を追加

◆報告第1号
専決処分した事項の報告の件
つがる西北五広域連合の共同処理する事務及びつがる西北五広域連合規約の変更について

報告

◆報告第5号
工事の請負契約の件
工事名 4災第162号 扇田川・母沢川災害復旧工事
請負代金 8052万円
契約の相手方 株式会社三浦建設
代表取締役 三浦 聖芝

◆報告第2号
令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件
事業名 戸籍システム改修事業ほか10事業
繰越額 合計13億3666万円

陳情

◆陳情第1号
インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情
【提出者】五所川原民主商工会 会長 坂本 正輝
【陳情項目】インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付すること

◆報告第3号
令和4年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告の件
事業名 下水道施設災害復旧事業
繰越額 480万円

◆報告第4号
令和4年度水道事業会計繰越計算書報告の件
事業名 上水道施設災害復旧事業
繰越額 2億5572万円

町政をたぐす



▲大型風車建設現場の様子

る。また、それ以前からの準備工事等も実施しているの、これらに携わった方々もほかに含まれるものと思われる。総工費は、おおよそ420億円ということだが、経済効果については、具体的な数値は不明。ただし、県外企業の方々が、町内の宿泊施設や借家等を利用してこのことから、これらに起因する経費等は、町内において消費されているものと思われる。また、商業運転開始後も、メンテナンススタッフの雇用やその他、除雪や道路維持管理等から経済効果が見込まれると思われる。

問 今議員
近年、働き盛りの町民が減り、高齢者の人口が半数を超える状況となっており、地域コミュニティの維持が危ぶまれている。高齢者が住み慣れた地域で安全、安心して暮らし続けるためには様々な課題があるものと認識している。そこで提案だが、役場内に身近な諸問題を解決してくれる「なんでも課（仮称）」の開設が必要と思うが、町長の見解は。

答 町長
将来的な固定資産税の額は、20年間で15億円から16億円程度と試算している。更に、町の農林漁業及び地域の活性化に寄与するための協力金として、年間4千万円、20年間で計8億円が町に寄付される予定となっている。

問 今議員
①本年12月に世界自然遺産登録30周年を迎える白神山地の自然、歴史や文化を共有する市町村が、どのように協力し合い全国に発信し、取り組んで行くのか。
②「十二湖」の山開き以降、登録30周年をどのように盛り上げて行くのか。
また、登録30周年に呼応すると思われる「十二湖振興戦略プラン」の状況は。

答 町長
①7月17日に弘前市で開催される世界自然遺産登録30周年オープニングセレモニーを皮切りに、首都圏のマスメディア等を活用した集中的なPR、首都圏の駅での観光キャラバンや産直市と連携した観光プロモーション、アウトドア関連会社とタイアップした旅行商品の企画などの事業が計画

答 町長
本町では、町民課の町民生活係が正にこうした業務を行っており、小規模な自治体は、役場そのものが「なんでも課」であり、その窓口として町民課や両支所があるので、あえて新たな部署を設置しなくても、現在の組織で十分にその役割を担っているものと考えていることから、専門部署の開設といった考えはない。

答 町長
全国の自治体の中には、困りごとの相談窓口としての役割を担い、ハチの巣駆除や道路上の動物の死骸の処理など、すぐにやれるものはすぐに対応し、専門的な事案などについては担当部署や専門機関につなぐなどの業務を行っている「すくやる課」などといった部署が全国で14ほどの自治体が設置している。

問 今議員
ゆとり温泉閉鎖後、高齢者がコミュニケーションを図れず、自宅に閉じこもり認知症等の健康不安が生じていると聞く。一般常識的には、施設閉鎖に際して何らかの対策があるものと私は考えるが、高齢者の健康被害対策解消の対応は。

答 町長
ゆとり温泉閉鎖後、高齢者がコミュニケーションを図れず、自宅に閉じこもり認知症等の健康不安が生じていると聞く。一般常識的には、施設閉鎖に際して何らかの対策があるものと私は考えるが、高齢者の健康被害対策解消の対応は。

町政をたぐす

世界自然遺産登録30周年 関係市町村の協力・取組は？

答 県が主導し、白神山地周辺自治体が一丸となって取組を進める



こん 今 かつよし 勝吉 議員

問 今議員
①本年12月に世界自然遺産登録30周年を迎える白神山地の自然、歴史や文化を共有する市町村が、どのように協力し合い全国に発信し、取り組んで行くのか。
②「十二湖」の山開き以降、登録30周年をどのように盛り上げて行くのか。
また、登録30周年に呼応すると思われる「十二湖振興戦略プラン」の状況は。

答 町長
①7月17日に弘前市で開催される世界自然遺産登録30周年オープニングセレモニーを皮切りに、首都圏のマスメディア等を活用した集中的なPR、首都圏の駅での観光キャラバンや産直市と連携した観光プロモーション、アウトドア関連会社とタイアップした旅行商品の企画などの事業が計画



されている。県が主導し、白神山地周辺自治体が一丸となって取組を進める予定となっている。
②5年ぶりとなる花火大会を8月12日に計画しているほか、写真・動画コンテストの実施、白神山地の水「青池ラベル」制作等の事業で、遺産登録記念の機運を盛り上げることにしている。
また、十二湖振興戦略プランについては、今年度においては、王池湖畔の旧店舗解体工事とその跡地の環境整備工事を年度内の事業完了に向けて進める。

問 今議員
深浦町の風力発電（合同会社グリーンパワー深浦）は現在、出力7万9800キロワットの風力発電施設（大型風車19基）と送電線（地中集電ケーブル）の工事中で、2024年2月に商業運転開始予定と聞いている。そこで働く総人数（雇用創出）及び経済効果はどのくらいなのか。（将来的な固定資産の見込み）
また（株）グリーンパワーインベストメントは現在、深浦町北部（広戸地区から田野沢地区）約3700ヘクタールで大型風車31基〜45基程度で最大出力約19万キロワットの風力発電を計画しているが、その総合経済効果の試算は。

答 町長
合同会社グリーンパワー深浦に確認したところ、延べ約12万人、最近では1日600人から700人が従事してい

世界自然遺産 白神山地について

風力発電について

町政をたぐす



免許取得に対して補助金を交付している。
②本町では、現在、医療機関の充実、老朽化したインフラの整備、地域公共交通の確保、空き家対策、地域コミュニティの機能強化等、人口減少によつて想定される様々な課題に対応しているが、今後、想定外の影響も出てくるかもしれない。
現在行っている対策のみならず、危機感をもつて積極的に対応していきたい。

答 町長
①ゆとり施設は、社会福祉協議会の事務室、居宅介護支援事業所及びヘルパーステーションとして活用しているほか、多目的ホールでのイベントや

問 大高議員
①現在の「ゆとり」施設を今後どのような活用を考えているのか。また、ウエスパ椿山の温泉施設及び源泉の活用は、
②一人暮らしの高齢者等、財産問題で不動産（土地・建物・山林等）の処理方法が分からないのか、また、相談しに行き手段がない一人暮らしの高齢者に対し、町としての対応は、
③墓を管理し継承する人がいなくお墓をどうしたらいいのか考えても分からないという人がいる。対策として、合葬墓を検討すべき時が来たかと思うが。

「認知症カフェ」や「脳の健康教室」も開催している。
ウエスパ椿山の温泉施設及び源泉の活用は、既存施設を修繕して活用する場合、また、新たな温泉施設を建設した場合についても検討したが、いずれの活用についても、経費とランニングコスト等で断念せざるを得ない状況であった。温泉熱の利用は、現在も弘前大学がチエリモヤのみの試験栽培を実施している。
②町民課町民生活係で町民相談を実施している。一人暮らしの高齢者の相談、財産問題



や近隣トラブル、体調面や金銭面など今後の生活に対する不安など様々で、問題解決に向け町民課が中に入って関係機関と調整し、スムーズに問題解決できようお手伝いする。
③合葬墓については、家族単位の個人墓と異なり、複数の方々の遺骨を一緒に埋蔵する墓のことで、墓を管理してもらえませんが、多くの場合は他の方の遺骨と混在するので、後で、別に取り出すことが出来ないうという面もある。
まずは合葬墓に対する町民ニーズを把握し、整備の必要性があれば、運営方法も含め本町にあった合葬墓を検討したい。

町政をたぐす

問 非正規職員に勤勉手当を支給するように!

答 国や県の取扱いとの均衡を基本に前向きに処遇改善を検討していく



おおたか つねぞう 議員
大高 恒藏

非正規職員の処遇改善について

問 大高議員
①自治体の非正規職員のボーナス（勤勉手当）を支給できる地方自治法が4月26日成立した。支給するかどうかは自治体で判断とあるが、町の考えは。
②現在、会計年度任用職員の対応と採用者の内訳は。

答 町長
①非正規職員（会計年度任用職員）の処遇は、これまでも有給休暇の拡充や期末手当の支給割合の見直しなど、国家公務員や青森県の取扱いとの均衡の観点から改善に取り組みしてきた。
この勤勉手当の支給は、各地方自治体の判断に委ねられていることから、総人件費に与える影響など様々な要件を踏まえ国家公務員や青森県の取扱いとの均衡を基本に前向きに処遇改善を検討していく。

②複雑・多様化する行政需要の対応、質の高い行政サービスを提供するためには、常勤職員に加え、会計年度任用職員が重要な役割を果たしている。
令和5年度の採用者の内訳は、事務補助員20人、医療事務3人、看護師・栄養士7人、嘱託医師2人、技能労務員13人、用務員2人、教育支援員8人、学校調理員11人、学校用務員5人、地域おこし協力隊員と危機管理専門員が各1人、外国語指導助手2人の計75人となっている。



少子高齢化に対する本年度の対策について

問 大高議員
①労働人口の減少は、現在、建設現場や農業・漁業関係として介護、医療、縫製関係にも影響を与えている。それぞれの事業が失速しない施策を考え支援すべきと思うが。
②人口減少は生活サービスの機能が低下し、公共料金的大幅値上げやJR・バス事業に大きな影響を与え、更に公共施設の統廃合も考えられる。これらに対応した対策は。

答 町長
①昨年度から若年者等を新たに常用労働者として雇用した事業主に対して奨励金を支給する制度を実施し、今年度は、更に若年者以外の常用労働者やパート労働者も対象になるよう拡充に努めている。
また、令和2年度からは、就労者の地元定着を図るため、仕事や就職に役立つ資格又は

町政をたぐす

問 町長

①民間事業者による利活用について再募集をするのか等を含め、様々な選択肢を検討したが、新型コロナウィルス感染症が仮に収束に向かったとしても急速に経済状況が好転するとは考えにくく、民間事業者の再募集や町が指定管理する利活用も困難と判断した。現段階では、緑地広場等への花ぎの植栽や遊具等の設置を検討することとし、その他の施設については、優先順位を決めて順次解体を進める方針としている。

②(イ)修繕して活用する場合

問 八木議員

①現状と今後の整備予定は。
②ウエスパ椿山の展望露天風呂の復活を望む大きな声が町民から出ているが、当該施設の復活は総合的に見て可能かの整備費用
(イ)ランニングコスト

ウエスパ椿山について



▲閉鎖したウエスパ椿山展望露天風呂

の経費とランニングコストについては、当時の積算で修繕費に約1130万円、継続的に必要となる施設の維持管理に年間約700万円前後の経費が必要となる。

仮に源泉かけ流しの温泉施設を新築した場合の必要経費は、ごく簡素なものでも約1億5千万円以上となり、そのランニングコストも人件費を除いて、年間約400万円の経費が見込まれる。

そのほか、他の建屋の解体等にはまだ時間を要する中で、展望風呂だけを改修・再開するのはどうなのか、また、公

答 町長

①算定根拠は青森県を通して国から示されており、算定基準どおり譲与されていることを確認している。

②令和元年度から4年度までに譲与された総額は5711万5千円で、森林経営管理制度に基づき経営管理権集積計画の作成に向けた「森林所有

問 八木議員

①算定基準通り譲与されているか伺いたい。
②今まで譲与された総額とその使途を伺いたい。
③具体的な森林整備等への取組方針を伺いたい。

森林環境譲与税を活用した森林等の整備について

設の温泉施設として位置的にあの場所でのいいのかどうかなど問題点も多く、総合的にみて展望風呂の復活は困難であると考えている。



者への意向調査^{※1}や「傾斜・路網^{※2}の有無等の現地調査」、「一筆ごとの本数や材積量の調査」などに活用したほか、森林簿情報の更新、有害鳥獣対策用の軽トラック購入、民有林における再造林補助金など、森林に関わる幅広い事業に活用しております。

③令和2年度から森林所有者に対して「自ら森林を管理するか」あるいは「委託管理を希望するか」といった意向調査を実施し、委託管理を希望する森林については、現況調査や材積量調査を行った上で、森林経営管理制度による林業事業者への委託管理を進めることで適正な森林整備に努めていく。

また、今年度、林業関係者等による「林業振興会議」を組織し、森林の適正管理や木材の高付加価値化、Jークレジット^{※1}の創出、木質バイオマスとしての利活用など、今後の林業振興策について検討することとしている。

※1 路網=合理的な林道経営を行うために森林内に整備する林道・作業道などのインフラ。
※2 Jークレジット=CO²の削減量や吸収量の認証を国が行っている制度。

町政をたぐす

問 今後数年間の主要な財政指標の推移は？

答 経常収支比率は上昇傾向にある
健全で持続的な財政運営を目指す



やぎ 八木 議員

問 八木議員

①財政運営計画を策定していると思うが今後数年間の主要な財政指標の推移は。
(イ)経常収支比率
(ロ)実質公債費比率
(ハ)財政調整基金
②財政運営計画上の大規模事業は。
③今後の普通交付税の見込みは。

答 町長

①の「経常収支比率」は、令和元年度決算で99・1パーセントと硬化化が著しい状況であったが、令和3年度決算では90・8パーセントまで改善した。

しかし、この改善は、国の時限的な財政措置による効果が大きく影響していると分析しており、令和4年度決算見込みでは約95パーセントまで上昇し、その後も上昇傾向にあると推計している。

②「実質公債費比率」は、令和3年度決算で早期健全化基準25・0パーセントに対して9・5パーセントと改善傾向となった。

③「財政調整基金」は、平成17年度末に枯渇状況だったが、平成21年度以降積立てを継続して、令和4年度末の見込残高は約18億2千万円と見込んでいる。この基金は、町を取巻く様々な環境変化に対して迅速に対応するための財源であるとともに、将来への備えとしても確保しておく必要がある重要な財源であることに念頭におきながら、健全で持続的な財政運営を目指す。



②国・県補助金と地方債を主な財源とした災害復旧事業約30億円を計上している。

また、西海岸衛生処理組合管理施設に関して、令和5年度から令和6年度にかけて実施する焼却施設の大規模改修事業負担金8億9千万円と、今後予定している、し尿処理施設整備事業負担金5億円について、過疎対策事業債を財源に計上している。

そのほか、現在継続事業の風合瀬地区漁村整備事業について、令和3年度から令和7年度までの総事業費5億5千万円を国・県補助金と上水道事業債を財源に計上している。

③令和4年度7月時点の交付決定額約35億7千万円をベースに、推計しているが、人口の減少と大型風力発電施設による固定資産税の増を主な要因に、令和8年度では約32億4千万円に減少すると見込んでいる。令和5年度の地方財政計画を考察すると、この推計以上に減少することが危惧される。

町の財政状況について

深浦町議会 第126回臨時会

7月4日(火)に開催された本臨時会は、工事の請負契約の件1件、専決処分の報告及びその承認を求めの件1件が提出され、採決の結果、原案どおり可決・承認されました。



▲門ノ沢橋

◆議案第1号
工事の請負契約の件
 工事名 令和4年度線深水
 災第1号 岩崎南地区水道
 施設災害復旧工事
 請負代金 8547万円
 契約の相手方
 株式会社 ホリエイ
 代表取締役 堀内 精二
 令和4年8月豪雨で、黒崎
 地区への導水管が破損したた
 め、門ノ沢橋(L117・0m)
 と白神橋(L1132・1m)に
 通水管を架橋し、大間越地区
 から黒崎地区へ給水するため
 の工事

その他の議案



▲白神橋

報告

◆報告第1号
**専決処分した事項の報告及
 びその承認を求める件**
 (承認地域経済牽引事業の
 ために設置される施設に係
 る固定資産税の特別措置に関
 する条例の一部を改正する)
 地域経済牽引事業の促進に
 よる地域の成長発展の基盤強
 化に関する法律第26条の地方
 公共団体等を定める省令の一
 部改正に伴い、所要の改正を
 行う。

◆第126回臨時会採決等状況一覧 ※○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、議長(斉藤 登)は採決に加わらない。

議案等	八木 史	七戸 仁	福沢 秀己	大川 清光	岩谷 司	岩根 環	今 勝吉	大高 恒藏	藤田 一則	工藤 博利	七戸 均	斉藤 登	議決結果(賛成:反対)
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
報告第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認(11:0)



議案審議等の動画が視聴できます。

スマートフォンなどで手軽に一般質問などの録画映像がご覧になれます!

議会だより内に掲載しておりますQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問や町長の提案理由の説明、採決の様子の動画が視聴できます。ぜひ、ご視聴ください。
 ただし、QRコードを読み取るためにはアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後にご利用ください。
 ※QRコードとは、今やいたる所で見かけるようになった四角い白黒の点で構成されたマークで、読み取れば簡単にいろいろな情報を知ることができます。

議会録画配信

YouTube(ユーチューブ)で録画配信を行っております。



YouTube「深浦町議会チャンネル」

町政をたずね

問 吉田町政どんな運営をしたの達成度、自身の満足度は?



答 重点プロジェクト3つを掲げ進めてきた町民、議員各位で御判断を



七戸 均 議員

吉田町政の運営について

問 七戸議員
 吉田町政はどんな「ビジョン」の下に運営されたのか。現時点での達成度、また、町長御自身の満足度を伺いたい。

答 町長
 就任当時の深浦町は、4年連続で赤字決算を出すという危機的な状況にあった。そこで、第一に財政の健全化への取組、それとともに、地域の6次産業化や住民協働のまちづくりを盛り上げて行こうと考えた。
 町が考えること役場ができることには限度があり、民間町民が主体となって、地域産業の活性化や集落機能の維持に取り組んでいくことが必要だと思っている。
 私の施策の柱は、第一次産業の振興、子育て支援の充実、未来を担う人材の育成、集落

の活性化、地域医療の充実、地方経済の復興と一貫している。



深浦町第二次総合計画では、将来の目指す姿を「まち」「ひと」「自然」が「つながり」「わのまち ふかうら」とした。
 計画の重点プロジェクトとして、「定住促進」、「第一次産業と観光業の融合による地域振興」、「地域医療・地域包括ケア推進」の3つを掲げ必要な施策を進めてきた。
 町政の達成度、満足度については、政治家としての私の口から語るといよりは、町民、議員各位において、御判断いただければと考えてます。

未来の深浦町を住みよい町にするための対策について

問 七戸議員
 観光のシンボリック的存在であったウエスパ橋山事業の廃止、高橋の廃校、「ゆとり」温泉部門の廃止、商店街の寂れ様何にも増してこのころの灯が消えていつに感じる。
 町の将来像を考えるに、日本一住みよい街を目指して、役場にプロジェクトチームを作つて青写真を描く考えはないか。

答 町長
 若い世代で町政運営に関心のある方もいる。縦割行政の中で自分の意見や考えを表現する機会がないだけで、チームを組むことで建設的な議論が湧いてくると思う。早速、副町長に命じながらプロジェクトチームを立ち上げるようにする。

議会活動

国道101号整備促進期成同盟会及び西津軽能代沿岸道路建設促進期成同盟会総会

令和5年5月24日(水)

本総会は、八峰町文化交流センター「ファガス」で開催され、9人の議員が参加した。能代、深浦、鰯ヶ沢間の国道101号の改良整備を促進し、青森、秋田県の産業及び観光振興と文化交流に繋げるよう引き続き国と両県に要望することを決議した。

深浦会東京総会及び交流会

令和5年6月10日(土)

斉藤議長ほか議員10人が参加した。4年ぶりに開催された交流会には、約200人の深浦町出身者が集まり郷土料理を味わいながら和やかな雰囲気の中で近況状況や思い出話等で交流を深めた。



県下町村議会議員研修会

令和5年7月19日(水)

研修会は、青森市リンクモア平安閣市民

ホールで開催され、斉藤議長ほか7人の議員が参加した。

「これからの政局・政治展望」と題し、「週刊ポスト」などで執筆活動の傍ら、多数のテレビ番組に出演している、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏の講演を聴いた。



議会運営委員会

令和5年6月8日(木)

調査事項

- 1 深浦町議会第125回定例会の日程について
- 2 陳情について
- 3 閉会中の継続調査及び審査の申出について

総務文教常任委員会

令和5年5月29日(月)

調査事項

- 1 会議規則第73条による閉会中の継続審査について
- 2 町介護保険事業運営協議会委員の選任について

所管事務の調査

閉会中の継続調査
・総務文教常任委員会が所管する事項について

産業建設常任委員会

令和5年5月29日(月)

協議案件

会議規則第73条による閉会中の継続審査について

所管事務の調査

閉会中の継続調査
・産業建設常任委員会が所管する事項について

令和5年6月13日(火)

協議案件

会議規則第73条による閉会中の継続審査について

議会広報編集委員会

令和5年6月26日(月)

・広報第74号の編集について

令和5年7月31日(月)

・広報第74号の編集について

お詫びと訂正

5月26日発行第73号に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。13ページの「議案第6号 教育長の任命の件」

【正】任期は令和5年5月14日から3年間です。

【誤】任期は令和5年5月14日から4年間です。

議会広報編集委員会

委員長	今 勝吉	副委員長	七戸 仁
委員	大高恒藏		岩谷 司
	大川清光		福沢秀己

(発行者) 議 長 斉藤 登

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号 (代) 74-2111 (内202)
(直) 74-4418